



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	福島県双葉町における住民の関心事項の変遷に関する一考察 - 町政懇談会議事録を用いたテキスト解析
Alternative_Title	A study on the changes of residents' concerns in Futaba town, Fukushima prefecture - A text analysis of the minutes of the town administration - Residents meeting
Author(s)	藤井 新子(産業技術総合研究所), 金井 裕美子(産業技術総合研究所), 高田 モモ(産業技術総合研究所), 保高 徹生(産業技術総合研究所) Fujii, Shinko(National Inst. of Advanced Industrial Science and Technology); Kanai, Yumiko(National Inst. of Advanced Industrial Science and Technology); Takada, Momo(National Inst. of Advanced Industrial Science and Technology); Yasutaka, Tetsuo(National Inst. of Advanced Industrial Science and Technology)
Citation	第 12 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.53 The 12th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	ポスターセッション 1
Text Version	Publisher
URL	https://f-archive.jaea.go.jp/handle/faa/277823
Right	© 2023 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 12 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



福島県双葉町における住民の関心事項の変遷に関する一考察

一町政懇談会議事録を用いたテキスト解析一

○藤井新子・金井裕美子・高田モモ・保高徹生
産業技術総合研究所

1. 背景および目的

原子力発電所における事故後の収束・復旧プロセスにおいては、ICRP（国際放射線防護委員会）146において、初期（緊急期）、中期（移行期）、長期（復旧期）の3フェーズと、緊急被ばく状況（初期・中期に相当）・現存被ばく状況（長期）の2つの被ばく状況を設定し、事前の準備や事故後の放射線防護の指針を示している¹⁾。一方、ICRP146で示されている通り、復旧期においては、放射線防護だけでなく、人々の暮らしを復旧させるためのインフラや公的サービスの再構築が重要となる。本研究では、2011年の東京電力福島第一原子力発電所の事故後、長期の全町避難が継続していた福島県双葉町を対象として、2015年、2018年、2021年の町政懇談会における発言を分析し、10年を超えて避難する住民の関心事項の変遷を環境回復プロセスや復興プロセスと関連付けて検討した。

2. 方法

双葉町が開催した住民との町政懇談会のうち、復興状態が異なる2015年（全町避難）、2018年（復興初期）、2021年（一部避難指示開始1年後）の3年分の議事録に記録された住民の発言を、テキストマイニング手法を用い分析した。分析には計量テキスト分析ツールであるKH Coder²⁾を用いた。テキストデータから抽出された語を対象に、頻出語リストと共起ネットワーク図を作成した。また、コーディングルール（表1）を作成し、発言を内容によって土壌・水から双葉町・復興・インフラまでの10カテゴリに分類し、懇談会の開催年を外変数とした対応分析とクロス集計を行った。

表1 コーディング表 (ver. 7/7)

区分	カテゴリ	関連語(抽出語)
環境	1 農地	農地, 田畑, 土壌, ぼ場, 山林, 田んぼ, 水路, 耕作
	2 野生動物被害	動物, 駆除, イノシシ, イノブタ, ハクビシン
経済	賠償・補償・支援・減免	賠償, 補償, 慰謝料, 税, 徴収, 診察料, 医療費, 受償料, 免除, 減免, 既得権益, 無料, 支援, 割引, 負担, 補助, お金, 自費, 遺産, 財産, 助成, 交付, 基金, 宿泊費, 宿泊料, 準備金, 課税
	3	
社会	放射線・除染・健康・安全	除染, 処理水, 汚染水, 汚染物, 被ばく, 放射能, 放射線, 放射性物質, 線量, Sv, 健康, 検診, 健診, 検出, 廃炉, ホットスポット, 井戸水, 乳がん, 農業用水路
	4	
	避難指示解除・家屋解体	避難指示解除, 解除, 解体, 家屋, 建物, 家, 特定復興再生拠点, 拠点, 帰還困難区域, 区域, 区域外, 白地地区, バリケード, ゴミ, ごみ
	5	
	歴史・文化・風景・景観	先祖, 墓, ふるさと, 故郷, 神社, 文化財, 壁画, 海岸, 海水浴, 海, せんたん, 昔, 思い出, 風景, 大字会, 同級会, 伐採, 雑草, 除草, 除去, 土砂
	6	
	中間貯蔵施設	中間貯蔵, 中間貯蔵施設, 最終処分, 原状復旧, 汚染土壌, 土壌貯蔵施設
	7	
	帰還・一時帰宅・宿泊	帰還, 準備宿泊, ホテル, 住宅, 滞在, 一時帰宅, 宿泊施設, 掃除, 清掃, 修繕, リフォーム, 戻る, 帰る, 泊まる, 場所
	8	
避難先生活	発信, タブレット, 町政懇談会, 広報, 復興公営住宅, 復興住宅, 公営住宅, 住民票, 見守り, 自治会, 集会所	
9		
双葉町・復興・インフラ整備	まちづくり, ビジョン, 復興, 計画, 駅西, ヘリポート, 商店, インフラ, 水道, 電気, ホーム, 学校, 町営, 公共施設, 行政区, 近所, 場所, 歌地, 更地, 防犯, 泥濘, 盗難, 防災, 後継者, 共同墓地	
10		

3. 結果と考察

長期避難中の住民の関心や課題は多岐にわたるが、各カテゴリの全体に占める割合は時間の経過により変化した。避難生活が長引くにつれて、中間貯蔵施設や避難先での生活に関する発言は減少し、農業や帰還・一時帰宅等に関する言及が増加した。また、歴史・文化・風景・景観等の日常のQOLで重視されるような内容への関心が高まった。2021年時点では町は全域が避難指示区域であり、中期あるいは移行期のフェーズに留まっていた一方で、住民の一部は避難先で住宅を確保する等、生活に一定の落ち着きを取り戻し、復旧期を迎えて日常生活を充実させる段階に進んでいる可能性が示唆された。

謝辞

本発表は、環境研究総合推進費（JPMEERF22S20930）の助成を受けた。

参考文献

- 1) ICRP(2020) : ICRP Publication 146 Radiological Protection of People and the Environment in the Event of a Large Nuclear Accident.
- 2) 樋口耕一 (2020) : 社会調査のための計量テキスト分析 内容分析の継承と発展を目指して【第2版】、ナカニシヤ出版

A Study on the Changes of Residents' Concerns in Futaba Town, Fukushima Prefecture
-A Text Analysis of the Minutes of the Town Administration - Residents Meeting-
Fujii Shinko, Kanai Yumiko, Takada Momo, Yasutaka Tetsuo
(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)